

『頑張れコブミカン！——宮澤賢治的植物劇南国篇』

登場人物

コブミカン、アントン・コスター、コブミ姫、コブミカン太郎、レモン女王、
ヘレン・コスター、檸檬妃、莓小人市五郎、林檎王子五朗、お婆さん、小レモ、
イダ・バグス、柑橘妃、鏡、レモン絞り器、莓小人市子、お爺さん

第一場 レモン女王登場

コロス

広い広いお屋敷の お屋敷寺のその横に
その名もずばりコブミカン あえて云うならこぶみちゃん
ひつそりとして生えていた 地味に地道に生きていた
実は本当に凸凹で どこから見ても凸凹で
市場で普通に売られてる 小さな丸いレモンやら
柑橘類の仲間から ことあるごとに冷やかされ
ことあるごとにからかわれ 寂しい思いしてました
凸凹モコッとしてるよね

小レモ

コブミカン

小レモ

コロス

あるとき海の向こうから ヨーロッパからハイカラな
値段姿も特別の レモンの女王（じょおう）やつてきた
しゃなりしゃなりのピックアピカ オーラ爽やかレモン色
ひと山たつた五十円 現地ルピアで言うならば

五千ルピアもしないほど 安くてへそが茶を沸かす
見た目極々当たり前 平々凡々ハイボンボン

取るに足らない大衆の 柑橘十把一絡げ

まとめてみんなこんにちは 私レモンの女王です

女王（じょおう）陛下バンザーリ 女王陛下バンザーリ！

すっぱい汁を撒き散らし 声をからして叫びます

あれだけ低く見られても レモン女王の威圧感

シトラスクイーンカリスマに 哀れ庶民はへりくだる
これこれあなた凸凹さん どうしてここにいるのかえ？

あのく私も一応は 柑橘なのでいるのです

初めて見たわ ジーロジロ

チヨツトキモイわ ジーロジロ

見たくないわね これ以上

退場処分 してください

小レモ

すると柑橘警備隊 凸凹コブミ追い払う
転がっていくコブミカン 転がっていくコブミちゃん

コロス

コロコロコロコロコロコロコロ
ゴロゴロゴロゴロゴロゴロ

デコボコデコボコデコボコ

転がるみかんコブミカン レモン女王に追い出され
コロコロとゆく屋敷道 恥ずかしいやら辛いやら

一体どこへ行くのやら（暗転）

第二場 観光客來訪

（観光客の女ヘレーン・コスター、同じく男anton・コスター、屋敷の主人イダ・バグス）

アントン こちらがこの屋敷のご主人、イダ・バグス。こちらが妻のヘレーンです

イダ・バグス オーム・スワステイアストウ、ヘレーン・コスターさん

ヘレーン オーム・スワステイアストウ、イダ・バグス、つてあつ！ハンドバッグからレモンが落ちて、あっちへ転がって行つたわ、とつてきてアントン！

アントン しようがないなあ、なんでハンドバッグにレモンなんて入れてるんだよ？

ヘレーン 旅の最中ですもの、何が起るかわからないでしょ
アントン そんなことしなくたつてこっちの市場で買えば、君のレモンひとつでひと山買つてもお釣りがくるよ、ホラ

ヘレーン あら、あなたこそポケットにそんなにたくさん入れてえ…ってそれレモンなの？小さいし丸いわよ

アントン それが正真正銘のレモンなんだよ、ね、イダ・バグス？

イダ・バグス はい、ジエルツク・レモ、ともーします

アントン ヘーえ、インドネシア語ではそう云う名まえなんですか、で、バリ語では？

イダ・バグス 単に、レモ、デスかね

アントン こりやまた簡単なことで

イダ・バグス、アントン ワーハッハッハ：

ヘレーン あのー、男の社交辞令笑いの世界を中断して悪いけど、そろそろ取つてきてくださいな

アントン い、私のレ・モ・ン！

アントン あーそーでした、そーでした、わかりましたよ、取つてくれればいいんでしょ、取つてくれば：つてあれつ、今度は向こうからコブミカンが転がってきたぞー！珍しいなあ
ちつとも珍しくないですよ。こちらでは庭の灌木としてよく植えられます

アントン こんなの国で買つたら大変な値段ですよ

イダ・バグス へーえそうですか

ヘレーン こちらではどんな料理に使うのですか？

アントン オツ、君も興味が湧いてきたようだね

ヘレーン 「料理」とくれば当然でしょ！